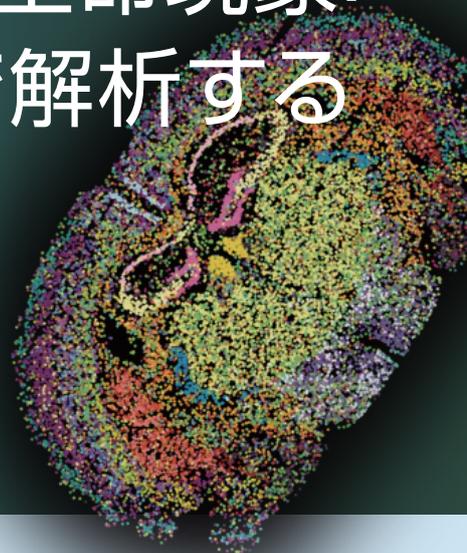


日本農芸化学会 2026 年度大会（京都）

タカラバイオ株式会社 ランチョンセミナー

# 空間オミクスで解き明かす生命現象： 遺伝子発現を組織レベルで解析する 新しいアプローチ

Unraveling Biological Phenomena with Spatial Omics:  
A Novel Approach to Analyzing Gene Expression  
at the Tissue Level



日 時

2026.3.12 (THU) 12:15-13:05

会 場

B1会場/RY201 同志社大学 今出川キャンパス

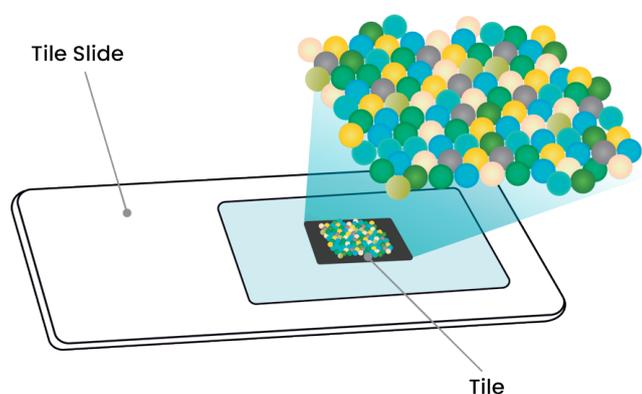
プログラム番号

4LS3B1

演 者

タカラバイオ株式会社 井上 晃一

タカラバイオは、分子生物学研究試薬からゲノム解析サービスまで、ライフサイエンスをサポートするバイオテクノロジー企業です。近年、シングルセル解析や空間オミクス分野における研究ソリューションを強化しています。



Trekker tile 概略図

本セミナーでは、新しい研究アプローチとして、組織上の遺伝子発現を解析可能な「**Seeker 空間トランスクリプトーム**」と、細胞核に位置情報を付与しシングルセルデータを空間データに変換する「**Trekker シングルセル空間マッピング**」をご紹介します。多様な生物への応用事例を交えながら、空間解析の基本コンセプトから技術の進化、そして幅広い研究分野での可能性をご紹介します。